

登録コード	F3A58630	開講年度	2026				
授業科目	生理心理反応計測法（24F～）					担当教員	上條 正義
英文授業名	Psychophysiological measurement					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生	
講義室	繊維3 2 番講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー 非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 4Fカリ・先進感性						
	【2023年度以降カリキュラム対象】繊維関連製品群の設計と計測・評価のプロセスを理解する能力					⇔	快適感やストレスを心理反応、生理反応につかって評価できる方法の基礎知識を持ち、実験計画がたてられるようになる
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	製品を使用する際の使い心地や衣服の着心地といった感性工学的な計測手法と評価手法について解説する。 100分授業を実施します。						
(5)授業計画	(1) 授業概要説明 (2) 電気生理的測定器の基礎 (3) 心拍測定 (4) 血圧測定 (5) 生理心理計測 (6) 眼球運動測定 (7) 快適感計測 (8) 脳活動計測 (9) 脳波測定 (10) 体温測定 (11) 発汗測定 (12) 筋電図の導出方法 (13) ストレス計測 (14) 疲労計測						
(6)成績評価の方法	人の生理反応や心理反応を定量的に評価する方法についての理解度を問う試験の点数および毎回提出してもらう授業のまとめ・整理（レポート）の内容で評価する。						
(7)成績評価の基準	授業で講義した内容が 十分に理解し、卓越した水準にあれば「秀」 十分に理解し、かなり上の水準にあれば「優」 理解し、やや上の水準にあれば「良」 理解し、水準にあれば「可」 理解不足で水準より下であれば「不可（D）」 全く理解できていない水準であれば「不可（F）」						
(8)事前事後学習の内容	この授業は 90 時間の学修を必要とする内容です。従って、60 時間以上の時間外学習が必要となります。授業中にノートに記載した内容を参考書で補いながら自分の学習ノートを作るようにしてください。						
(9)履修上の注意	授業でお話することで重要と思う点をメモする癖をつけてください。人体の機能を理解することを狙ってパワーポイントで表示する図をスケッチしてもらいます。スケッチする時間は十分にとる予定ですが、時間に限りがありますので、集中して授業を受けてください。						
(10)質問,相談への対応	授業中、授業後に直接質問してください。						
(11)学生へのメッセージ	からだのしくみを知り、反応を測定する技術を身に着けると、将来の自己実現のための武器になります。						
(12)その他	授業後に授業内容のまとめを作成提出してもらいます。これで出席を評価します。						
【教科書】	指定しません。						
【参考書】	初学者のための生体機能の測り方 加藤象二郎他 日本出版サービス 絶版になってしまったので、購入できませんが、図書館で閲覧できます。						